

AWAJI POLICE STATION NEWS

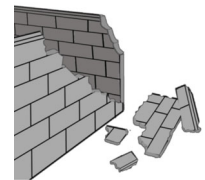
淡路警察署だより 1月号

1月17日は、「ひょうご安全の日」です。
本年度、阪神・淡路大震災から25年を迎えますが、阪神・淡路大震災の経験と教訓をいつまでも忘れることなく、安全で安心な社会づくりを推進する取り組みを広く県民の参画のもとに推進していくことを目的として「ひょうご安全の日」は設立されました。

地震発生時の行動

自らの命を守る

- 1 屋内の場合
倒れかかる家具などから身を守るため、防災頭巾や座布団などで頭を保護しながら、テーブルや机の下に逃げ込んでその脚部分を押さえましょう。
さらに、ドアを開けるなど脱出路を確保し、懐中電灯等の明かりも確保しましょう。
- 2 屋外の場合
建物、ブロック塀の倒壊や窓ガラスの落下などの危険を避けて、空き地などの安全な場所に避難しましょう。
- 3 海辺の場合
海のそばで大きな揺れを感じたら、テレビやラジオの情報に注意しながら、津波警報や避難勧告が出る前でも、自らの判断で近くの高台や頑丈なビルや施設の上に避難しましょう。
津波の前に、海水が大きく引いていく引波現象が起こる場合があります。
間違っても海の様子を見に行くような行動をとらないようにしましょう。



兵庫県には活断層が数多く存在しているほか、今後30年以内に70%から80%の確率で発生すると言われていた南海トラフ地震でも県内で著しい地震災害が起きるおそれがあるとされています。

地震はいつ、どこで発生するか分かりません。

いざというときに備え、気象情報や避難に関する情報をどのように入手するのか、避難場所はどこで、どこを通過して避難するのか、家族との連絡方法はどのようにするのかなど、自宅や職場を中心に考え、家族で話し合うことが必要です。
また、地域ごとのハザードマップの確認や、家具の転倒防止措置、非常用持ち出し袋の用意などの備えをしておきましょう。



参考

兵庫県や市町では、携帯電話のメール機能等を利用して緊急情報（地震情報・津波情報・気象情報・土砂災害警戒情報）等を発信しています。

ひょうご防災ネット（スマートフォン用アプリもあります。）

※ URL <http://bosai.net/>

兵庫県CGハザードマップ

※ URL <http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/>